タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定3級合格を目標とする
教科書	問題集・プリント・模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語① 3 熟語② 4 異字同訓・同音異義 5 誤字訂正 6 項目別模擬試験① 7 項目別模擬試験② 8 項目別模擬試験③ 9 項目別模擬試験④ 10 項目別模擬試験⑤ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインI
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究② 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 面接効果測定① 15 面接効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーションを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習を実施する
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己PRの見直し 2 自己分析の方法・注意点 3 自己分析② 6 自己分析③ 6 自己PRの作り方 7 自己PRの作成② 8 自己PRの作成③ 10 自己PRの作成⑤ 11 自己PRの作成⑤ 12 自己PRの修正① 13 自己PR発表①(効果測定) 15 自己PR発表②(効果測定)
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	エアロビクス [
実務家教員	0
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	エアロビックダンスの特性・効果を理解し、構成する各種運動や動作を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	各種テキストのエアロビクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
	実務経験者による実習
授業計画	1 エアロビックダンスの歴史、特性と効果
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	水中運動I
実務家教員	0
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 筆記試験対策 (国語①) 2 筆記試験対策 (国語②) 3 筆記試験対策 (国語③) 4 筆記試験対策 (国語⑤) 5 筆記試験対策 (数学①) 7 筆記試験対策 (数学②) 8 筆記試験対策 (数学③) 9 筆記試験対策 (数学④) 10 筆記試験対策 (数学⑥) 11 筆記試験対策 (英語①) 12 筆記試験対策 (英語②) 13 筆記試験対策 (英語③) 14 筆記試験対策 (社会①) 15 筆記試験対策 (社会②)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてSPI試験の傾向を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マイナビWeb模擬試験で全国平均点以上を目標にする
教科書	マイナビテキスト(言語・非言語)
授業計画	1 筆記試験対策(SPI:言語)① 2 筆記試験対策(SPI:言語)② 3 筆記試験対策(SPI:言語)③ 4 筆記試験対策(SPI:言語)④ 5 筆記試験対策(SPI:言語)⑤(効果測定) 6 筆記試験対策(SPI:非言語)① 7 筆記試験対策(SPI:非言語)② 8 筆記試験対策(SPI:非言語)④ 9 筆記試験対策(SPI:非言語)④ 10 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥ 11 章記試験対策(SPI:非言語)⑥ 12 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥ 13 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥ 14 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥ 5 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥ 15 筆記試験対策(SPI:非言語)⑥
成績評価方法	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
(試験実施方法)	
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習を実施する
達成目標	様々な面接で対応できる技術を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団面接の基本 2 集団面接練習① 3 集団面接練習② 4 効果測定① 5 集団討論の基本 6 集団討論練習② 8 効果測定② 9 個人面接の基本 10 個人面接練習① 11 個人面接練習② 12 効果測定③ 13 書類送付方法 14 ビジネスメール
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な栄養学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	歴 歴 東 東 東 東 東 東 東 東
授業計画	□ 五大栄養素の役割① 五大栄養素の役割② 五大栄養素の役割③ 五大栄養素の役割③ 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化・吸収、食物選択のためのガイド 中間考査対策① 中間考査が() 中間考査・
成績評価方法 (試験実施方法)	30 解説、サプリメントの摂取方法 期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	解剖学 I
実務家教員	0
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	6 0 単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	L肢 (骨① L肢 (骨節)
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	0
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義・実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な救急処置範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 教急処置法① 2 教急処置法② 3 教急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング (足関節①) 6 テーピング (足関節②) 7 テーピング (足関節③) 8 テーピング (足関節④) 9 中間考査 (筆技①) 11 テーピング (膝関節①) 12 テーピング (膝関節②) 13 テーピング (膝関節③) 14 テーピング (膝関節⑥) 15 テーピング (膝関節⑥) 16 テーピング (下腿②) 18 期末考査 (実技①) 19 マッサージ (下肢④) 20 マッサージ (下肢④) 21 マッサージ (下肢④) 22 マッサージ (上肢①) 25 マッサージ (上肢⑥) 27 マッサージ (上肢⑥) 27 マッサージ (上肢⑥) 27 マッサージ (上肢⑥) 28 マッサージ (全身) 30 期末考査 (実技②)
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
(武腴天肔力法)	

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	157
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な心理学的基礎の範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	理動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論② 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 中間考査対策 中間考査 指導と受講のミスマッチと解決方法 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 一般人の健康増進への活用③ 一般人の健康増進への活用② 一般人の健康増進への活用② 一般人の健康増進への活用③ 期末考査対策 期末考査対策
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	目的に応じたトレーニング方法と効果を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	2 アイソトニックトレーニングの実際② 3 アイソトニックトレーニングの実際② 4 アイソメトリックトレーニングの実際③ 5 サーキットトレーニングの実際 6 筋カトレーニングの効果 7 筋カトレーニングのプログラムの条件設定③ 9 中間考査① 10 筋カトレーニングの実際① 11 筋カトレーニングの実際③ 12 筋カトレーニングの実際③ 13 筋カトレーニングの実際③ 13 筋カトレーニングの実際④ 14 期末考査① 15 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 17 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 17 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 パワー向上トレーニングの実際(パワークリーン) 20 パワー向上トレーニングの実際(スナッチ) 21 パワー向上トレーニングの実際(グライオメトリクス④) 22 パワー向上トレーニングの実際(プライオメトリクス②) 25 パワー向上トレーニングの実際(プライオメトリクス②) 26 パワー向上トレーニングの実際(プライオメトリクス③) 27 パワー向上トレーニングの実際(プライオメトリクス④) 27 パワー向上トレーニングの実際(ブライオメトリクス④) 28 パワー向上トレーニングの実際(プライオメトリクス④) 29 期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	30 解説 期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	運動生理学 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより専門的な講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	(民族) (大成田等日後) (成用) イバー
授業計画	□ 運動の発現 日格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構① 日格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構② お稼雑タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ 筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋 中間考査分策① 中間考査の 運動の持続と呼吸循環系② 呼吸循環系の機能の変化 運動時の酸素利用① コ運動時の酸素利用① コ運動時の酸素利用② 14 期末考査対策① トレーニングによる呼吸循環系の適応 2 運動と直液・体液 18 成長期における体力・基本的動作スキルの発達 の成人以降の加齢に伴う呼及循環系の値下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因 中間考査対策② コー中間考査② 呼吸循環系の基礎的情報① コ呼吸循環系の基礎的情報② 2 呼吸循環系の基礎的情報② 2 呼吸循環系の基礎的情報② 2 運動と呼吸循環系② トレーニングと呼吸循環系② トレーニングと呼吸循環系② トレーニングと呼吸循環系② リ末考査対策② リ末考査対策② リ末考査対策② リ末考査対策②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	p
授業科目	発育発達論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な発育発達範囲の知識を習得する
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 乳幼児の運動能力① 中間考査① 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定② 11 形態の発育② 11 形態の発育② 11 邦ま考査対策① 14 期末考査① 15 機能の発達② 機能の発達② 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化② 29 体発達定影響する要因と問題 中間考査② 生活習慣病 21 現代の健康問題② 22 生活習慣病 23 現代の健康問題② 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 産化② 27 運動指導の科学② 29 期末考査対等②
成績評価方法	30 期末考査② 期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
(試験実施方法)	
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	157
授業概要	社会生活とスポーツの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	生涯スポーツの知識を習得する
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	
授業計画	1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア① 7 中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア② 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	JAFA-GFI共通筆記資格試験合格を目標とする
	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
教科書 特記	ノイット不入基礎理論、グループエグササイス指導理論
授業計画	イントロダクション フィットネス概論 運動器の基礎解剖学① 運動器の基礎解剖学② 運動生理学② 運動生理学② 運動生理学③ 中間考査対策① 10 中間考査① 14 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 期末考査① ブルーブエクササイズ② グルーブエクササイズ② グループエクササイズ② グループエクササイズ② ブループエクササイズ② 21 グループエクササイズ② 22 グループエクササイズ② 23 中間考査対策② 24 中間考査② 対策問題演習② 対策問題演習② 対策問題演習② 対策問題演習③ 対策問題が必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが必然であることに対していませんが変があることに対していませんがあることに対していませんがあることに対していませんがあることに対していませんがあることに対していませんが変があることに対していませんがあることに対してはないませんがあることに対していませんがあることに対しないませんがある。ことに対しないませんがあることに対しませんがある。ことに対しないま
成績評価方法 試験実施方法)	30 期末考査② 期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	JAFA-GFI REI資格試験合格を目標とする
教科書	レジスタンスエクサイズ指導理論
特記	
授業計画	1 骨格筋の機能解剖学(筆記)
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	ストレッチングエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	JAFA-GFI SEI資格試験合格を目標とする
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 ストレッチング (実技①) 2 ストレッチング (実技②) 3 ストレッチングエクササイズの基本の動き (筆記) 4 ストレッチングエクササイズの基本の動き (実技①) 5 ストレッチングエクササイズの基本の動き (実技②) 6 中間考査 (実技) 7 骨格筋の解剖生理学 (筆記) 8 ストレッチングエクササイズの基礎知識 (筆記②) 9 ストレッチングエクササイズの基礎知識 (筆記②) 10 ストレッチングエクササイズのインストラクション (実技②) 11 ストレッチングエクササイズのインストラクション (実技②) 12 ストレッチングエクササイズのインストラクション (実技③) 13 ストレッチングエクササイズのインストラクション (実技③) 14 期末考査 (筆記) 15 期末考査 (実技)
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	ダイビングの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	PADIオープン・ウォーター・ダイバー資格試験合格を目標とする
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	
授業計画	1 ダイバーに必要な基礎知識(水圧と空気の体積の影響) 2 ダイバーに必要な基礎知識(水中でのものの見え方・音の聞こえ方) 3 ダイバーに必要な基礎知識(ダイビングの環境) 4 ダイバーに必要な基礎知識(ダイビングと健康管理) 5 トラブルの管理 6 器材について(選び方と手入れ) 7 器材について(ウェット/ドライスーツ・水面シグナル器材) 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル(スクーバキットのセッティング) 10 ダイバーとしてのスキル(マスククリア・マスク脱着) 11 ダイバーとしてのスキル(中性浮力) 12 ダイバーとしてのスキル(潜降と浮上・ハンドシグナル) 13 ダイバーとしてのスキル(緊急時の対処法) 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	キャンプインストラクターの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	キャンプインストラクター資格試験合格を目標とする
教科書	キャンプ指導者入門
特記	
授業計画	1 キャンプの特性 (キャンプの意義と目的) 2 キャンプの特性 (キャンプのルールとマナー) 3 キャンプの特性 (キャンプと環境教育) 4 キャンプの対象 (人間の心身の理解) 5 キャンプの対象 (自然環境の理解) 6 キャンプの指導 (キャンプインストラクターの資質と役割) 7 キャンプの指導 (指導者のためのコミュニケーションスキル) 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 キャンプの基本装備 (個人装備と団体装備) 10 キャンプに必要な生活技術 (テント設営) 11 キャンプに必要な生活技術 (アウトドアクッキング) 12 キャンプに必要な生活技術 (ロープワーク) 13 キャンプで行う 4 つのアクティビティ 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	スキーの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	バッジテスト5級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スキーの現状 2 器具の選び方、セッティングと着用方法 3 基本姿勢(ボーゲン)と開脚歩行 4 停止と安全な転び方 5 スキーにおける身体の使い方 6 プルークボーゲンでの滑走(基礎) 7 プルークボーゲンでの滑走(応用) 8 ターン基礎(緩斜面でのパラレルターン) 9 ターン基礎(緩斜面でのシュテムターン) 10 ターン応用(中斜面でのパラレルターン) 11 ターン応用(中斜面でのパラレルターン) 12 ターン応用(中急斜面でのパラレルターン) 13 スキーヤーとしてのルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	スノーボードの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	バッジテスト5級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スノーボードの現状 2 セッティングと着用方法、スタンスの確認 3 基本姿勢 4 体重のかけ方 5 安全な転び方 6 スケーティング基礎 7 スケーティングでの方向転換 8 ターンにおける身体の使い方(上半身・下半身) 9 ターン基礎(緩斜面での停止・連続ターン) 10 ターン基礎(緩斜面でのロングターン・ミドルターン) 11 ターン応用(中斜面でのショートターン・カービングターンロング) 12 ターン応用(中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング) 13 スノーボーダーにおけるルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 有酸素性運動(プログラミング) 2 有酸素性運動(プログラムの進行) 3 有酸素性運動(機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点) 4 有酸素性運動(有酸素性運動の選択と指導上の留意点) 5 レジスタンス運動(安全性と効果) 6 レジスタンス運動(負荷設定法、負荷強度、反復回数) 7 レジスタンス運動(レジスタンス運動の種類) 8 レジスタンス運動(レジスタンス運動の方法) 9 ケーススタディによるプログラム作成① 10 ケーススタディによるプログラム作成② 11 ケーススタディによるプログラム作成③ 12 ケーススタディによるプログラム作成④ 13 ケーススタディによるプログラム作成④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	運動指導者に必要な筋力トレーニングの方法を学ぶ
授業の進め方	レジスタンストレーニング(基礎)の種類や効果を理解し、実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス (レジスタンス運動の分類、アイソトニックトレーニングの実際) 2 フリーウエイトトレーニング② 4 フリーウエイトトレーニング③ 5 アイソメトリックトレーニング② 6 アイソメトリックトレーニング③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング② 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング③ 11 サーキットトレーニング 12 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1537
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを学ぶ
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル(ペアストレッチ、トレーニング補助法)を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス(マンツーマン指導とグループ指導の違いについて) 2 パーソナルトレーニングの補助テクニック② 4 パーソナルトレーニングの補助テクニック③ 5 パーソナルストレッチ基礎① 6 パーソナルストレッチ基礎② 7 パーソナルストレッチ基礎③ 8 自体重トレーニングの補助法・負荷法① 9 自体重トレーニングの補助法・負荷法② 10 自体重トレーニングの補助法・負荷法③ 11 ウォームアップとクールダウン 12 パーソナルトレーニングのプログラミング基礎 13 パーソナルトレーニングのプログラミング応用 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践IV
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ
授業の進め方	レジスタンストレーニング(応用)の種類や効果を理解し、実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス(トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法) 2 フリーウエイトトレーニング指導・補助法② 3 フリーウエイトトレーニング指導・補助法③ 5 アイソメトリックトレーニング指導・補助法① 6 アイソメトリックトレーニング指導・補助法② 7 アイソメトリックトレーニング指導・補助法③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法② 10 サーキットトレーニング指導・補助法② 11 サーキットトレーニング指導・補助法② 12 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法① 13 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
VIII - J	

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションI
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	評価方法と評価法を活用したアスリハプログラムの作成方法について学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	基本的なアスリハプログラムを理解し、作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	 1 アスレティックリハビリテーション概論 2 アスリハにおける評価の流れ(ROM検査) 3 アスリハにおける評価の流れ(MMT) 4 アスリハにおける評価の流れ(整形外科的テスト) 5 アスリハにおける評価の流れ(触診:上肢) 6 アスリハにおける評価の流れ(触診:下肢) 7 アスリハにおける評価の流れ(触診:脊柱と体幹) 8 アスリハのプログラム作成の実際(治癒過程、物理療法、徒手療法の理解) 9 アスリハのプログラム作成の実際(関節可動域訓練) 10 アスリハのプログラム作成の実際(筋力強化訓練①) 11 アスリハのプログラム作成の実際(筋力強化訓練②) 12 アスリハのプログラム作成の実際(全身持久力、敏捷性、バランス訓練) 13 アスリハのプログラム作成の実際(時期による段階的なアスリハ、1日の流れ) 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメント
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級合格を目標とする
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 フィットネス産業(現状・歴史) 2 フィットネス産業(特徴) 3 健康づくり(健康施策の概要と動向、生活習慣病とその予防) 4 健康づくり(栄養・運動・休養) 5 運動・トレーニングの基礎(運動生理学の基礎、トレーニングの基礎) 6 店舗運営(フロント業務、事務運営業務、スタジオ運営業務) 7 店舗運営(プール運営業務イベントの企画・運営、付帯事業、クラブ内での緊急対応) 8 顧客マネジメント(顧客対応と接客の心構え、見学者対応) 9 顧客マネジメント(顧客対応と課題解決) 10 チームワークとコミュニケーション(組織と業務分担の考え方、仕事の進め方) 11 チームワークとコミュニケーション(コミュニケーションの重要性) 12 施設・設備管理の意義と重要性(総合クラブの施設内容、管理の概念と基本) 13 安全衛生(職場の安全衛生) 14 期末考査対策 15 期末考査対策
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス (グループレッスンの種類、特徴、基本構成) 2 レッスンプログラミング基礎 (ウォームアップとクールダウン) 3 レッスンプログラミング基礎 (筋コンディショニング) 4 レッスンプログラミング基礎 (その他ツール使用方法) 5 レッスンプログラミング基礎 (モデルレッスン作成) 7 レッスンプログラミング基礎 (モデルレッスン実践) 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ① 11 エクササイズ② 12 エクササイズ④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	157
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ
授業の進め方	専門的な講義と問題演習を実施する
達成目標	幼児体育指導者検定2級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	
授業計画	1 幼児の発達の様相(発達の一般的傾向) 2 幼児の発達の様相(幼児期における身体的発達の意義) 3 幼児期における「利き手」の発達 4 幼児における動機づけと目標 5 学習の最適期について(レディネス) 6 学習の最適期について(臨界期) 7 運動技能学習の過程(学習曲線) 8 運動技能学習の過程(潜在的学習期) 9 運動技能学習の過程(学習の初期) 10 運動技能学習の過程(高原期と飛躍期) 11 運動技能学習の過程(完成期) 12 学習方法について(全習法) 13 学習方法について(分習法) 14 教育の6原則 15 筆記試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	幼児体育指導者検定2級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	
授業計画	1 実技講習の意義 2 リズム体操(やさい体操①) 3 リズム体操(やさい体操②) 4 マット運動(前転・後転) 5 マット運動(前転・後転の補助) 6 マット運動(ブリッジ実演と補助) 7 ゲームあそび 8 跳び箱(開脚跳び) 9 跳び箱(開脚跳びの横補助・後ろ補助) 10 なわとび(前とび・拍子とび) 11 なわとび(なわの指導法・結び方) 12 ボールを使った指導法 13 基本運動(低い姿勢の運動・立位の運動) 14 基本運動(バランス・体支持の運動) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級合格を目標とする
教科書	問題集・プリント・模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 反対語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験③ 11 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 筆記による試験で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心に、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさの表現を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 企業研究② 9 企業研究② 10 模擬面接練習① 11 模擬面接練習② 12 面接効果測定① 13 面接効果測定② 14 面接効果測定③ 15 面接効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを実施する
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を習得する
教科書	プリント、資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション② 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション② 10 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 K J 法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	 電卓の使い方、端数の取り扱い 電卓演習① 電卓演習③ 電卓演習⑤ 電卓演習⑥ 電車演習⑦ 電車演習② 電車演習② 電車演習② 電車演習② 電車演習② 電車演習③ 電車変習③ 電車変習③ 電車変別③ 電車変別③ 電車変別③ 電車変別 電車変別③ 電車変別③ 電車変別③ 電車変別の 電車変別③ 電車変別の 電
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	 応用電卓演習① 応用電卓演習② 応用電卓演習③ 応用電卓演習⑤ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習⑥ 応用電卓演習① 応用電卓演習① 応用電卓演習② 応用電卓演習② 応用電卓演習② 応用電卓演習② が用電卓演習② が用電卓演習② が用電卓演習② 本部電卓演習② 本部電卓演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	自身でビジネス文書を作成できるようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎 1 2 文字入力の基礎 2 3 ビジネス文書作成 1 (案内文) 4 ビジネス文書作成 2 (案内文) 5 ビジネス文書作成 3 (送付状) 6 ビジネス文書作成 4 (送付状) 7 ビジネス文書作成 5 (社内文書) 8 ビジネス文書作成 6 (社内文書) 9 ビジネス文書作成 7 (表作成) 10 ビジネス文書作成 8 (表作成) 11 ビジネス文書作成 9 (表作成) 12 ビジネス文書作成 1 0 (文章と表の組み合わせ) 13 ビジネス文書作成 1 1 (文章と表の組み合わせ) 14 ビジネス文書作成 1 2 (メール文章・メールの設定) 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択F
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間 (2 単位)
授業コマ数	3077
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト・実戦問題集・模擬試験
特記	
授業計画	1 適性試験パターンIの解答方法 適性試験パターンIIの解答方法 適性試験パターンIIの解答方法 適性試験パターンIIの解答方法 適性試験練習① 適性試験練習② 適性試験練習③ 適性試験練習③ 適性試験練習③ 適性試験練習③ 適性試験練習③ 適性試験練習③ 10 適性試験練習③ 11 適性試験練習③ 12 適性試験練習③ 13 適性試験練習③ 14 適性試験練習③ 15 適性試験練習③ 16 適性試験練習③ 17 適性試験練習③ 18 適性試験練習② 19 適性試験練習② 20 適性試験(適性試験)② 複擬試験(適性試験)② 複擬試験(適性試験)③ 模擬試験(適性試験)③ 模擬試験(適性試験)③ 模擬試験(適性試験)③ 模擬試験(適性試験)⑤ 模擬試験(適性試験)⑤ 模擬試験(適性試験)⑤ 模擬試験(適性試験)⑤ 模擬試験(適性試験)⑤ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥ 模擬試験(適性試験)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3077
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い② 学校と職場の違い③ 職場のマナー① 職場のマナー② 職場のマナー③ 仕事の進め方② 仕事の進め方② 仕事の進め方③ 報告、連絡、相談② 報告、連絡、相談② 接接② 接接③ 接接③ 接触① 按変)、お辞儀② 接触② 接触② 接触② 接触② 接触③ 接触② 接触③ 接触② 接触③ 接触② 接触③ 接触② 接触③ 接触② 接触③ 接触③ 被語① 被語② 被語② 被話② 被話》 被話② 被話② 被話》 被話② 被話② 被話》 被話② 被話》 被話② 被話》 被話》 被話② 被話》 被述》 被述》
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする
教科書	プリント
特記	
授業計画	 1 スポーツキャリア学習① 2 スポーツキャリア学習② 3 スポーツキャリア学習③ 4 スポーツキャリア学習⑤ 6 スポーツキャリア学習⑥ 7 スポーツキャリア学習⑥ 8 スポーツキャリア学習⑨ 9 スポーツキャリア学習⑩ 10 スポーツキャリア学習⑪ 11 スポーツキャリア学習⑪ 12 スポーツキャリア学習⑪ 13 スポーツキャリア学習⑪ 14 スポーツキャリア学習⑪ 15 スポーツキャリア学習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインV
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする
教科書	プリント
特記	
授業計画	 スポーツキャリア演習① スポーツキャリア演習② スポーツキャリア演習③ スポーツキャリア演習⑤ スポーツキャリア演習⑥ スポーツキャリア演習⑥ スポーツキャリア演習⑧ スポーツキャリア演習⑩ スポーツキャリア演習⑪ スポーツキャリア演習⑪ スポーツキャリア演習⑪ スポーツキャリア演習⑫ スポーツキャリア演習⑫ スポーツキャリア演習⑬ スポーツキャリア演習⑬ スポーツキャリア演習⑬ スポーツキャリア演習⑬ スポーツキャリア演習⑬ スポーツキャリア演習⑬
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	バイオメカニクス
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	3074
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	2 身体運動に関係する筋と骨②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
(中では)/ノベルロノゴ 144/	

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ医学Ⅰ	11118 - 1
実務家教員		11111111111
学部・学科	スポーツ産業学科	11.10
履修年次	2年次	arce van
開講学期	前期	200
科目区分	選択	V 1.764
授業方法	講 義	10 20 10 10
授業時間	30単位時間 (2名)公主	
授業コマ数	157	134
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なスポーツ医学(外科)範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)	X 11 // Y
特記	に水圧助大阪旧寺省長成用ノイハド、ドレ ニング旧寺省ノイハド (生圃棚)	4.41
授業計画	 2 内科的な急性障害、慢性障害 教急処置① 教急処置② 整形外科的傷害と外科的救急処置 中間考査 7 スポーツ傷害とは 8 足部・足関節の傷害 9 下腿部の傷害 10 膝関節の傷害 11 大腿部の傷害 12 腰部の傷害 13 肩関節の傷害 14 肘関節・手関節の傷害 	
成績評価方法 試験実施方法)	15 期末考査 期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	Art (Cara)
備考		

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1537
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なスポーツ医学(内科)範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	1 生活習慣病予防と身体活動・運動 2 肥満② 4 糖尿病② 6 中間考査対策 7 中間考査 8 脂質異常症① 9 脂質異常症② 10 高血圧症② 11 高血圧症② 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	測定評価
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な測定評価範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	*
授業計画	 1 無酸素能力の測定、有酸素能力の測定(実技) 2 最大酸素摂取量の測定、無酸素性閾値 3 体脂肪量の測定(実技) 5 新体カテスト①(実技) 5 新体カテスト③ 7 健康づくりのための運動指針2006、体力テストの評価中間考査 9 トレーニング効果の測定と評価の実際① 10 トレーニング効果の測定と評価の実際② 11 トレーニング効果の測定と評価の実際③ 12 測定データの活用とフィードバック準備① 13 測定データの活用とフィードバック準備② 14 測定データの活用とフィードバック準備③ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	運動処方
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	157
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全かつ効果的な運動プログラムを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な運動処方範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト (実践編)
特記	
授業計画	 1 メディカルチェックについて 2 健康の維持増進のための身体活動基準2013、健康づくりのためのトレーニングの原則 3 健康づくりと運動プログラム作成の基礎とポイント ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 レジスタンス運動 中間考査 7 トレーニング計画の立案① 8 トレーニング計画の立案② 9 トレーニング計画の立案③ 10 筋カトレーニングのプログラム作成① 11 筋カトレーニングのプログラム作成② 12 筋カトレーニングのプログラム作成③ 13 筋カトレーニングのプログラム作成④ 14 筋カトレーニングのプログラム作成④ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	- W- (A1)
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な健康管理概論範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト (理論編)
特記	
授業計画	1 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① 2 わが国の現状と健康づくり施策② 3 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 4 メディカルチェック 5 中間考査 6 中間考査 7 体力の概念① 8 体力の概念② 9 体力の要素と体力モデル① 10 体力の要素と体力モデル② 11 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	身体活動・運動実践がアスリートの心身に与える影響について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	JATIの試験に必要な運動指導の心理学的基礎範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト (理論編)
特記	
授業計画	 運動と心理に関する基礎理論① 運動と心理に関する基礎理論② 運動と心理に関する基礎理論③ スポーツ選手の競技力向上への活用① スポーツ選手の競技力向上への活用② ロボーツ選手の競技力向上への活用③ 中間考査対策 中間考査 問題演習① 問題演習② 問題演習③ 問題演習④ 問題演習⑤ 期末考査対策 期末考査対策 期末考査対策
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践V
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	60単位時間
授業コマ数	307
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識習得及びプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング範囲の知識を習得する
	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	2 ウォームアップとクールダウン (実技②) 3 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン② 5 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン (実技) 5 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン (実技) 7 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際 (実技②) 中間考査① 9 トレーニング計画の立案① 10 トレーニング計画の立案② 11 トレーニング計画の立案② 11 トレーニング計画の立案(実技) 12 特別な対象のためのトレーニングプログラム (実技②) 14 特別な対象のためのトレーニングプログラム (実技③) 15 期末考査① 16 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成① 17 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成② 18 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成(実技) 20 スピード向上トレーニングの実際 (実技②) 21 スピード向上トレーニングの実際 (実技③) 21 スピード向上トレーニングの実際 (実技③) 22 中間考査② 23 トレーニングの運営③ 26 運動指導のための情報収集と活用② 28 運動指導のための情報収集と活用③ 到期末考査② 30 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	ジョグ&ウォーク
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なウォーキングとジョギング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	 □ ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性 □ ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度(実技) □ ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点(実技) □ ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法 □ ウォーキングとジョギングのプログラム(実技) 中間考査 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成② 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 持久力向上トレーニングの実際① 持久力向上トレーニングの実際② 持久力向上トレーニングの実際③ 排末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	アクアエクササイズ
実務家教員	21,92
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アクアエクササイズインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	JAFA-GFI AQWI・AQDI試験合格を目標とする
教科書	アクアエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果 2 水中レジスタンスの基本動作、運動強度 3 水中レジスタンスのプログラミング 4 水中レジスタンスの指導法① 5 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法① 7 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法② 8 中間考査 9 腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点 10 アクアダンスの基本動作 11 アクアダンスの運動強度 12 アクアダンスのプログラミング 13 アクアダンスのコリオグラフィー 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	エアロビクスインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	JAFA-GFI ADI試験合格を目標とする
教科書	エアロビックダンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 環境条件(音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床) 2 運動指導上の注意点、指導者の役割 3 エアロビックダンス (プログラミング:運動強度) 4 エアロビックダンス (プログラミング: つなぎ、コンビネーション) 5 エアロビックダンス (プログラミング: 安全性、リニア) 6 エアロビックダンス (指導法:キューイング) 7 指導の循環 中間考査 9 エアロビックダンス (指導練習①) 10 エアロビックダンス (指導練習②) 11 エアロビックダンス (指導練習③) 12 エアロビックダンス (指導練習④) 13 エアロビックダンス (指導練習④) 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	陸上運動
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者実技試験(陸上運動)合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	 1 エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作 2 エアロビックダンス (課題動作、フォーム確認) 3 エアロビックダンス (観察・修正・指導の循環) 4 エアロビックダンス (反復練習) 5 レジスタンス (課題動作、フォーム確認) 6 レジスタンス (観察・修正・指導の循環) 7 レジスタンス (反復練習) 中間考査 9 エアロビックダンス・レジスタンス (指導練習①) 10 エアロビックダンス・レジスタンス (指導練習②) 11 エアロビックダンス・レジスタンス (指導練習③) 12 エアロビックダンス・レジスタンス (指導練習④) 13 エアロビックダンス・レジスタンス (指導練習⑤) 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者実技試験(水泳・水中運動)合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 水中運動 (アクアダンスの指導法①) 2 水中運動 (アクアダンスの指導法②) 3 水中運動 (アクアダンスの指導法③) 4 水中運動 (アクアダンスの指導法④) 5 水中運動 (アクアダンスの指導法⑥) 7 水中運動 (アクアダンスの指導法⑦) 8 中間考査 9 水中運動 (水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②) 10 水中運動 (水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②) 11 水中運動 (水中ウォーキング、レジスタンスの指導法③) 12 水中運動 (水中ウォーキング、レジスタンスの指導法④) 13 水中運動 (水中ウォーキング、レジスタンスの指導法④) 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 健康づくり施策概論① 2 健康づくり施策概論② 3 健康づくり施策概論③ 4 運動生理学① 5 運動生理学② 6 機能解剖とバイオメカニクス① 7 機能解剖とバイオメカニクス② 8 前期中間考査 9 栄養摂取と運動① 10 栄養摂取と運動② 11 体力測定と評価① 12 体力測定と評価② 13 健康づくりと運動プログラム① 14 健康づくりと運動プログラム② 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

業概要(シラバス

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	· ·
授業計画	 2 運動指導の心理学的基礎① 2 運動指導の心理学的基礎② 3 健康づくり運動の実際(ウォームアップとクールダウン、ストレッチング) 4 健康づくり運動の実際(ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス) 5 健康づくり運動の実際(水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ) 6 運動障害と予防・救急処置① 7 運動障害と予防・救急処置② 8 中間考査 9 問題演習② 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑥ 14 問題演習⑥ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 単位時間
授業コマ数	307
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解する
教科書	トレーニング指導者テキスト(実)トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	
授業計画	2 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成② 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成③ 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑤ 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑥ 中間考査① と肢 (関節) 上肢 (神経と血管②) 上肢 (節①) 上肢 (筋③) 11 上肢 (筋③) 13 上肢 (筋③) 14 期末考査① 15 下肢 (段関節の筋①) 17 下肢 (股関節の筋②) 下肢 (足関節の筋②) 19 下肢 (足関節の筋②) 19 下肢 (足関節の筋②) 19 下肢 (足関節の筋②) 10 下肢 (足関節の筋②) 11 同題演習③ 12 問題演習③ 13 問題演習③ 15 問題演習③ 17 問題演習③ 18 問題演習③ 19 問題演習③ 19 問題演習③ 10 問題演習③ 11 問題演習③ 12 問題演習③ 13 問題演習③ 14 問題演習③ 15 同題演習③ 16 問題演習③ 17 問題演習③ 18 問題演習③ 19 問題演習③ 19 問題演習③ 10 問題演習③ 10 問題演習③ 11 問題演習③ 12 問題演習③ 13 問題演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 単位時間
授業コマ数	3074
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	3 呼吸循環系(運動とエネルギー代謝①) 呼吸循環系(運動とエネルギー代謝②) 呼吸循環系(トレーニングとエネルギー代謝②) 中間考査① 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(骨格筋の形態と機能①) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋力発揮のメカニズム①) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋力発揮のメカニズム①) 胃格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋力発揮のメカニズム②) 期末考査対策① 期末考査① 胃格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋・神経系に対するトレーニング効果①) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋・神経系に対するトレーニング効果②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋・神経系に対するトレーニング効果②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(主な内分泌器官とホルモン①) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(主な内分泌器官とホルモン②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(身体機能へのホルモンの作用①) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(身体機能へのホルモンの作用②) 中間考査づ策② 中間考査② 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋肥大におけるホルモンの役割②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋肥大におけるホルモンの役割②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋肥大におけるホルモンの役割②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(筋肥大におけるホルモンの役割②) 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動(じジスタンストレーニングとホルモンの分泌②) 間題演習② 期末考査2)
成績評価方法	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
(試験実施方法)	アタメイバワ タムンジルロイドに 1丈木 トンンジンル女ガでロツ心ロ印に町間

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	JATIの試験に必要な理論編範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	JATI試験の一般科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト (理論編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	1 体力学総論 機能解剖学(予柱と胸郭) 機能解剖学(下肢) 5 バイオメカニクス(基礎理論) 6 バイオメカニクス(スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス) 運動生理学① 運動生理学② 9 中間考査 運動と栄養 11 運動と心理 12 運動と医学(救急処置法、スポーツ選手の整形外科的傷害と予防) 13 運動と医学(生活習慣病とその予防) 運動指導の科学 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング指導者実践		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	JATIの試験に必要な実践編範囲を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する		
達成目標	JATI試験の専門科目合格レベルを目標とする		
教科書	トレーニング指導者テキスト (実践編)、JATI新問題集		
特記			
授業計画	1 トレーニング指導者論 2 各種トレーニング法の理論とプログラム① 3 各種トレーニング法の理論とプログラム② 4 各種トレーニング法の理論とプログラム③ 5 各種トレーニング法の理論とプログラム④ 6 各種トレーニング法の理論とプログラム⑤ 7 中間考査 8 各種トレーニング法の実際① 9 各種トレーニング法の実際② 10 各種トレーニング法の実際③ 11 各種トレーニング法の実際④ 12 トレーニング法の実際④ 12 トレーニング効果の測定と評価① 13 トレーニング効果の測定と評価② 14 トレーニングの運営と情報収集と活用 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	3037		
授業概要	JATIの試験に必要な理論編範囲を学ぶ		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する		
達成目標	JATI試験の一般科目合格レベルを目標とする		
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)、JATI問題集		
特記			
授業計画	日 問題演習 (理論編②) 日 問題演習 (理論編③) 日 問題演習 (理論編④) 5 問題演習 (理論編⑥) 6 問題演習 (理論編⑥) 7 問題演習 (理論編⑥) 10 問題演習 (理論編⑥) 11 問題演習 (理論編⑥) 11 問題演習 (理論編⑥) 12 問題演習 (理論編⑥) 13 問題演習 (理論編⑥) 16 問題演習 (理論編⑥) 17 問題演習 (理論編⑥) 18 問題演習 (理論編⑥) 19 問題演習 (理論編⑥) 10 問題演習 (理論編⑥) 11 問題演習 (理論編⑥) 12 問題演習 (理論編⑥) 13 問題演習 (理論編⑥) 14 問題演習 (理論編⑥) 15 期末考査① 16 問題演習 (理論編⑥) 17 問題演習 (理論編⑥) 18 問題演習 (理論編⑥) 19 問題演習 (理論編⑥) 20 問題演習 (理論編⑥) 21 問題演習 (理論編⑥) 22 中間考査② 23 問題演習 (理論編⑥) 24 問題演習 (理論編⑥) 25 問題演習 (理論編⑥) 26 問題演習 (理論編⑥) 27 問題演習 (理論編⑥) 28 問題演習 (理論編⑥) 29 模様試験 30 期末考査②		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3074		
授業概要	JATIの試験に必要な実践編範囲を学ぶ		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する		
達成目標	JATI試験の専門科目合格レベルを目標とする		
教科書	トレーニング指導者テキスト (実践編)、JATI新問題集		
特記			
授業計画	2 問題演習 (実践編②) 問題演習 (実践編③) 問題演習 (実践編⑤) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑥) 問題演習 (実践編⑩) 問題演習 (実践編⑩) 問題演習 (実践編⑩) 問題演習 (実践編⑩) 問題演習 (実践編⑯) 世間遊演習 (実践編⑯) 世間遊滅習 (実践編⑯) 世間遊滅 (変別修) 世間遊滅 (変別		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
	■ Managary 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19		

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング実践VI		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ		
授業の進め方	スピード向上トレーニングの種類や効果を理解し、実施する		
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導方法を習得する		
教科書	トレーニング指導者テキスト (実践編)		
特記			
授業計画	1 ガイダンス (スピードの概念、基本動作) 2 体幹トレーニング概論① 4 スプリント (スタート動作①) 5 スプリント (減速動作②) 6 スプリント (減速動作②) 8 スプリント (フリープログレッション) 9 ジャンプ (スクワット〜スクワットジャンプ) 10 ジャンプ (連続ジャンプ〜ターンジャンプへの応用) 11 ラテラル動作 (サイドウォーク〜サイドステップ) 12 ラテラル動作 (切り返し動作) 13 フリープログレッション応用 (リニア〜ラテラル、ラテラル〜リニア) 14 期末考査対策 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング実践VII		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ		
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する		
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する		
教科書	トレーニング指導者テキスト (実践編)		
特記			
授業計画	1 ガイダンス(強度、頻度、回数の応用理論) 2 スロートレーニング① 3 スロートレーニング③ 4 スロートレーニング① 6 徒手抵抗トレーニング② 7 徒手抵抗トレーニング③ 8 バリスティックトレーニング② 9 バリスティックトレーニング③ 10 バリスティックトレーニング③ 11 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング③ 14 期末考査対策 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	トレーニング実践WI		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ		
授業の進め方	エンデュランストレーニングの種類と効果を理解し、実施する		
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する		
教科書	トレーニング指導者テキスト (実践編)		
特記			
授業計画	1 ガイダンス(持久力に関する基礎理論) 2 適切なウォームアップとクールダウン 3 LSDトレーニング 4 ATペーストレーニング 5 タイムトライアル 6 ビルドアップ 7 ファルトレク 8 インターバルトレーニング① 9 インターバルトレーニング② 10 レペティショントレーニング② 11 レペティショントレーニング② 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 14 期末考査対策 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	リハビリテーションⅡ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ		
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する		
達成目標	様々な対象に対して筋・筋膜へのアプローチ方法を習得する		
教科書	ボディナビゲーション		
特記	実務経験者による実習		
授業計画	1 ガイダンス(セルフモニタリングのやり方について) 2 解剖学(表層筋) 3 解剖学(深層筋) 4 表層筋へのアプローチ① 5 表層筋へのアプローチ③ 7 深層筋へのアプローチ① 8 深層筋へのアプローチ② 9 深層筋へのアプローチ③ 10 様々な対象へのアプローチ② 11 様々な対象へのアプローチ② 12 様々な対象へのアプローチ③ 13 様々な対象へのアプローチ③ 14 期末考査対策 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	フィットネス実践Ⅲ		
実務家教員	0,8		
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ		
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する		
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する		
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト		
特記			
授業計画	1 ガイダンス (グループレッスンの種類、特徴、基本構成) 2 レッスンプログラミング応用 (ウォームアップとクールダウン指導) 3 レッスンプログラミング応用 (筋コンディショニング指導) 4 レッスンプログラミング応用 (その他ツール使用の指導) 5 レッスンプログラミング応用 (カウントとキューイング指導) 6 レッスンプログラミング応用 (モデルレッスン作成指導) 7 レッスンプログラミング応用 (モデルレッスン実践指導) 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ指導① 11 エクササイズ指導② 12 エクササイズ指導② 13 エクササイズ指導④ 14 期末考査対策 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する		
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得する		
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級		
特記			
授業計画	1 幼児の発達の様相(スキャモンの発育曲線に見る運動の発達順序) 2 幼児の発達の様相(乳幼児から幼児期への身体発達) 3 幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理) 4 幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ 5 学習の適時性(臨界期とレディネス) 6 学習の適時性(身体的心理面からの幼児の発達的特徴の理解) 7 学習曲線のタイプ別理解(タイプA、B) 8 学習曲線のタイプ別理解(タイプC、D、E) 9 運動(技能)学習の過程(初期効果) 10 運動(技能)学習の過程(高原現象について) 11 運動(技能)学習の過程(学習の移転) 12 学習方法について(全習法と分習法の選択) 13 教育の6原則(動機、目的、実習の原則について) 14 教育の6原則(現実性、経験、関連性の原則) 15 期末考査		
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	キャリアデザインⅢ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	1527		
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6 グループ討議② 8 グループ討議③ 9 グループ討議⑤ 10 グループ討議⑥ 12 グループ討議⑥ 13 グループ討議⑧ 14 グループ討議⑨ 15 発表		
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度		
備考			

タイトル	内容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	4527			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・分	企画立案、	マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的7			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みに			
教科書	テキスト及び参考書		> > > > > > > > > > > > > > > > > > >	
特記	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
授業計画	1 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員ののととののとは知識② 5 販売員ののととののののののののののののののののののののののののののののののののの	3: 3: 3: 3: 3: 3: 3: 4: 4: 4: 4: 4:	1 商業集積⑤ 2 商業集積⑥ 4 小売業集積⑥ 4 小売業業のマーケティング① 5 小売業業ののマーケティング⑥ 5 小売業業ののマーケティング⑥ 6 小売業業高級のででは、 6 小売業業高級のでは、 7 小売業業高級のでは、 7 小売業業高級のでは、 8 小売業業のでは、 8 小売業を表しまする。 8 小売業を表しまする。 8 小売業を表しまする。 8 小売業を表しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	
成績評価方法 試験実施方法)	30 商業集積③			

実務家教員	販売知識応用		
2457 2451			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	4577		
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的な	ビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を	: 学ぶ	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベル	の知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 記 証 部 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	31 商品計画② 33 商品計画② 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理② 42 在庫管理② 42 板声管理② 45 販売管理③ 45 販売管理③	
比结亚布士法	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	Tower Formership
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	307
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	/ イハド及い参与音
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更② 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化③ 10 スライドの並で替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更② 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行① 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定③ 17 テキストの挿入、書式設定③ 18 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定④ 24 図の挿入、書式設定④ 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定③ 27 図形の並び替え、グループ化④ 28 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1表の挿入、設定2グラフの挿入、書式設定①3グラフの挿入、書式設定②4SmartArtの挿入、書式設定②5SmartArtの挿入、管理①7メディアの挿入、管理②8画面切り替えの設定①9画面切り替えの設定②10アニメーションの設定②11アニメーションの設定②12複数のコンテンツの結合②14プレゼンテーションの保護、共有①15プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1527
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理② 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成② 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成(1)① 11 表、画像、図形を使った文書の作成(1)② 12 表、画像、図形を使った文書の作成(1)④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理② 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)① 8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)② 9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word:段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel:複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 数式・関数を活用した集計表の作成① 5 数式・関数を活用した集計表の作成② 6 数式・関数を活用した集計表の作成③ 7 ワークシート間の集計① 8 ワークシート間の集計② 9 ワークシート間の集計③ 10 グラフの基本① 11 グラフの基本② 12 グラフの基本③ 13 目的に応じたグラフの作成と編集① 14 目的に応じたグラフの作成と編集② 15 目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	経営常識
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2~3 国際社会に関する事例学習 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9~10 I T社会に関する基礎用語 11 I T社会に関する基礎用語 12~13 I T社会に関する基礎用語 14 A I に関する基礎用語 15 A I に関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

ための講義 授業の進め方 テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	タイトル	内容
学部・学科	授業科目	経理実務
関係学院 2年次 問題学期 後期	実務家教員	
開講学別 後期 科目区分 選択 授業内法 講義 授業時間 6 0 単位時間 授業コマ数 3 0 コマ 技業観要 6 0 単位時間 授業コマ数 3 0 コマ 技業観要 6 0 単位時間 授業コマ数 3 0 コマ 技業観要 6 0 単位時間 授業コン数 7 キストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る 経理実務の生め方 7 キストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る 経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解が きる 7 キスト及び参考書 特記 1 経理・総務の年間カリキュラム ・ 小切手・手形の実務上のポイント ・ 3 入出金伝展と現金出納帳と手形記入帳 ・ 5 交票表 括明炉生費及び会議費用の区分 ・ 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① ・ 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 1 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 1 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② ・ 1 健康保険、厚生年金保険のでのでは、計付事務① ・ 1 は 原源所得税(給与)の徴収・納付事務② ・ 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1	学部・学科	スポーツ産業学科
科目区分 選択 接続 接換	履修年次	2年次
授業力法 講義 授業時間 6 0 単位時間 授業 7 名 3 0 平 2	開講学期	後期
授業の進め方	科目区分	選択
接業担要	授業方法	講義
接業概要 経理実務で必要となる業務的容を体系的に学び、特に勢視等で用いる帳票書類についての知識を習得すための講義 ジャストによる講義と問題底習により、知識の定着を図る 経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解がきる。 教科書 テキスト及び参考書 特記 1 経理・総務の年間カリキュラム ・ 小切手・手形の実務上のポイント	授業時間	60単位時間
技術の進め方 テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る 経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解が 教科書 テキスト及び参考書 特記 1 経理・総務の年間カリキュラム 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 当座預金出納帳と事形忍入帳 交階費 衛和厚生費 及び会費用の区分 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 11 健康保険、厚生年金保験の概要及び会計処理③ 12 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務① 13 源泉所得税(総合)の徴収・納付事務② 14 原泉所得税(総合)の徴収・納付事務(基礎)② 15 原泉所得税(総制)の徴収・納付事務(基礎)② 16 原泉所得税(報制)の徴収・納付事務(基礎)② 17 原泉所得税(報制)の徴収・納付事務(基礎)② 18 原泉所得税(報制)の徴収・納付事務(応用)③ 19 原泉所得税(報制)の徴収・納付事務(応用)③ 19 原泉所得税(報制)の徴収・納付事務(応用)③ 10 個人住民税の徴収及び納付② 11 個人住民税の徴収及び納付② 11 個人住民税の徴収及び納付② 11 個人住民税の徴収及び納付② 11 個人住民税の徴収及び納付② 11 個人住民税の金減及び納付② 11 個人住民税の金減及び納付② 11 個人住民税の金減及び納付② 11 個人住民税の金減及が必要が、12 11 12 12 13 13 14 14 15 15 15 15 15 15	授業コマ数	3077
達成目標	授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得すための講義
参名 教科書 テキスト及び参考書 特記 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
特記 1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利即生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 2 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得稅(給与)の徴収・納付事務① 13 源泉所得稅(給与)の徴収・納付事務② 14 源泉所得稅(給与)の徴収・納付事務③ 15 源泉所得稅(報酬)の徴収・納付事務③ 16 額泉財務稅(報酬)の徴収・納付事務⑥ 18 額泉財務稅(報酬)の徴収・納付事務⑥ 18 額泉財務稅(報酬)の徴収・納付事務(応用)① 19 須泉財務稅(報酬)の徴収・納付事務(応用)② 20 源泉所得稅(報酬)の徴収・納付事務(応用)② 11 個人住民稅の徵収及び納付② 12 個人住民稅の徵収及び納付① 22 個人住民稅の徵収及び納付① 22 個人住民稅の徵収及び納付② 11 阿桃稅の基礎知識 24 受取利息の基础を計処理 25 消費稅法の概要① 26 消費稅法の概要② 27 消費稅の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)② 成歳評価方法 試験実施方法) 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解が
1 経理・総務の年間カリキュラム 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座項金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費公会議費用の区分 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 深泉所得稅(給与)の徴収・納付事務⑥ 12 深泉所得稅(給与)の徴収・納付事務②	教科書	テキスト及び参考書
1 経理・総務の年間カリキュラム 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座項金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費公会議費用の区分 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 深泉所得稅(給与)の徴収・納付事務⑥ 12 深泉所得稅(給与)の徴収・納付事務②	特記	
30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ (記帳入門) ③ 成績評価方法 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト (記帳入門) ③ (記帳入門) ④ (記帳入門) ⑥ (記帐入門) ⑥ (記帳入門) ⑥ (記帐入門) ⑥ (記述入門) ⑥	授業計画	2 小切手・手形の実務上のポイント 入出金伝票と現金出納帳 当座預金出納帳と手形記入帳 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 沈泉所得税(給与)の徴収・納付事務① 沈泉所得税(総局)の徴収・納付事務③ 清泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (基礎)① 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (基礎)② 沈泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (基礎)② 沈泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 加泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 加泉所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 北京所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 北京所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)② 北京所得税(報酬)の徴収・納付事務 (本間)③ は人住民税の徴収及び納付② 日紙税の基礎知識 型取利息の会計処理 消費税法の概要② 消費税法の概要② 消費税法の概要② 消費税法の概要② 消費税法の会計処理 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)①
武被夫胞方伝》		
		The state of the s

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1527
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	 所得税の基礎知識① 所得税の基礎知識② 新得税の基礎知識③ 年末調整のしかた① 年末調整のしかた③ 法定調書の流れ① 法定調書の流れ② 法定調書の流れ③ 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② が働保険の概要及び会計処理① 労働保険の概要及び会計処理② 労働保険の概要及び会計処理② 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	 売上事務の流れ 納品書の作成と売上計上① 納品書の作成と売上計上② 請求書の作成と代金回収管理① 請求書の作成と代金回収管理② 請求書の作成と代金回収管理③ 複数の得意先との取引① 複数の得意先との取引② 複数の得意先との取引③ 仕入事務の流れ 仕入管理の記帳① 仕入管理の記帳② 仕入代金の支払いと買掛金管理① 仕入代金の支払いと買掛金管理② し入代金の支払いと買掛金管理② し入代金の支払いと買掛金管理② し入代金の支払いと買掛金管理② し入代金の支払いと買掛金管理②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識④ 5 用語知識⑤ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析② 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究② 15 事例研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 O 単位時間
授業コマ数	3077
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解② 店舗データの理解② マーケティングの流れ① マーケティングの流れ② 売上構成分析① 売上構成分析② 来店客分析② 来店客分析② 来店客分析② 南品分析① 10 商品分析② 費用分析② 費用分析② 課題抽出① 課題抽出① 課題抽出① は要極性は③ でンケート調査分析② 企画作成② 企画作成③ 企画作成③ 企画作成③ なマーケティング② ブレ卒業研究② ブレ卒業研究③ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑤ ブレ卒業研究⑥ ブレ卒業研究⑥ ブレ卒業研究⑥ ブレ卒業研究⑥ ブレ卒業研究⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	 職場での心構え① 職場の心構え② 職場に必要な能力② 職場の役割と機能① 職場の役割と機能② 秘書の職務① 秘書の職務② 企業の基礎知識① 企業の基礎知識② 企業組織の活動① 企業組織の活動② 社会常識① 社会常識② 社会常識② 社会常識② 社会常識② 社会常識②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	
授業時間	60単位時間
授業コマ数	307
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
	1 人間関係と話し方・聞き方①
	2 人間関係と話し方・聞き方②
	3 人間関係と話し方・聞き方③
	4 人間関係と話し方・聞き方④
	5 敬語と接遇用語①
	6 敬語と接遇用語②
	7 敬語と接遇用語③
	8 敬語と接遇用語④
	9 電話応対①
	10 電話応対②
	500 (CO) (CO) (CO) (CO) (CO) (CO) (CO) (CO)
	11 電話応対③
	12 電話応対④
1 m N/c m 1 mm	13 来客応対①
授業計画	14 来客応対②
	15 来客応対③
	16 交際業務① 17 交際業務②
	18 ビジネス文書の作成①
	19 ビジネス文書の作成②
	20 ビジネス文書の作成③
	21 ビジネス文書の作成④
	22 文書・資料管理①
	23 文書・資料管理② 24 文書・資料管理③ 25 27 27 27 27 27 27 27
	25 日程管理①
	26 日程管理②
	27 日程管理③
	28 日程管理④
	29 環境整備①
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	
C., tilln	

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	秘書としての考え方、職務知識、マナー・接遇について体系的に学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 秘書に求められる能力 秘書の役割・機能、職務内容 一般知識 報告・説明の仕方 敬語の用法 電話応対① 電話応対② 来客応対① 来客応対② 北内文章・社外文章① 社内文章・社外文章② メール・郵便・書類整理の知識① メール・郵便・書類整理の知識② 出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画② 5 企画③ 6 情報収集② 7 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画② 3 ライフプランニングと資金計画③ 4 ライフプランニングと資金計画④ 5 ライフプランニングと資金計画⑥ 6 ライフプランニングと資金計画⑥ 7 ライフプランニングと資金計画⑥ 8 ライフプランニングと資金計画⑧ 9 ライフプランニングと資金計画⑩ 10 ライフプランニングと資金計画⑩ 11 ライフプランニングと資金計画⑪ 12 ライフプランニングと資金計画⑪ 12 ライフプランニングと資金計画⑪ 13 まとめ 総復習① 14 まとめ 総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リスク管理① 2 リスク管理② 3 リスク管理④ 5 リスク管理⑥ 6 リスク管理⑥ 7 リスク管理⑥ 8 リスク管理⑥ 9 リスク管理⑥ 10 リスク管理⑩ 11 リスク管理⑩ 12 リスク管理⑩ 13 まとめ 総復習① 14 まとめ 総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 金融資産運用① 2 金融資産運用② 3 金融資産運用③ 4 金融資産運用④ 5 金融資産運用⑥ 6 金融資産運用⑥ 7 金融資産運用⑥ 9 金融資産運用® 9 金融資産運用⑩ 10 金融資産運用⑪ 11 金融資産運用⑪ 12 金融資産運用⑪ 13 まとめ 総復習① 14 まとめ 総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 タックスプランニング① 2 タックスプランニング② 3 タックスプランニング③ 4 タックスプランニング⑥ 5 タックスプランニング⑥ 6 タックスプランニング⑦ 8 タックスプランニング⑦ 8 タックスプランニング⑨ 10 タックスプランニング⑩ 11 タックスプランニング⑪ 12 タックスプランニング⑪ 12 タックスプランニング⑪ 13 まとめ 総復習① 14 まとめ 総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 不動産① 2 不動産② 3 不動産④ 5 不動産⑥ 7 不動産⑦ 8 不動産③ 9 不動産⑩ 11 不動産⑪ 12 不動産⑫ 13 まとめ総復習① 14 まとめ総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1577
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続・事業継承① 2 相続・事業継承② 3 相続・事業承継③ 4 相続・事業承継④ 5 相続・事業承継⑥ 6 相続・事業承継⑥ 7 相続・事業承継⑦ 8 相続・事業承継⑨ 10 相続・事業承継⑩ 11 相続・事業承継⑪ 11 相続・事業承継⑪ 12 相続・事業承継⑫ 13 まとめ 総復習① 14 まとめ 総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間
	3074
授業コマ数	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	1 総まとめ 問題対策・演習①
授業計画	2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習⑤ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑥ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 9 総まとめ 問題対策・演習③ 10 総まとめ 問題対策・演習③ 11 総まとめ 問題対策・演習③ 12 総まとめ 問題対策・演習③ 13 総まとめ 問題対策・演習③ 14 総まとめ 問題対策・演習③ 15 総まとめ 問題対策・演習③ 16 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 20 総まとめ 問題対策・演習③ 21 総まとめ 問題対策・演習③ 22 総まとめ 問題対策・演習② 23 総まとめ 問題対策・演習② 24 総合問題演習③ 25 総合問題演習③ 26 合問題演習③ 28 合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

タイトル	内容		
授業科目	リスク管理概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	6 0 時間		
授業コマ数	3 0 7		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記	1 総まとめ 問題対策・演習①		
授業計画	2 総まとめ 問題対策・演習② 4 総まとめ 問題対策・演習③ 5 総まとめ 問題対策・演習⑤ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習③ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 9 総まとめ 問題対策・演習③ 10 総まとめ 問題対策・演習③ 11 総まとめ 問題対策・演習③ 12 総まとめ 問題対策・演習③ 13 総まとめ 問題対策・演習③ 14 総まとめ 問題対策・演習③ 15 総まとめ 問題対策・演習③ 16 総まとめ 問題対策・演習③ 17 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 19 総まとめ 問題対策・演習③ 20 総まとめ 問題対策・演習③ 21 総まとめ 問題対策・演習③ 21 総まとめ 問題対策・演習③ 22 総まとめ 問題対策・演習③ 23 総まとめ 問題対策・演習③ 24 総合問題演習③ 24 総合問題演習③ 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習③ 28 総合問題演習③ 28 総合問題演習③ 28 総合問題演習③		
成績評価方法 (試験実施方法)	30 模擬試験 模擬試験 模擬試験における科目解答状況		
備考			
VH ₹			

タイトル	内容		
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	6 0 時間		
授業コマ数	3077		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
Operation and the second secon	対性な呼伝で问题を解さ、谷んを得さ山り オリジナルテキスト		
教科書	4 リンプルテキスト		
特記	4 WALL BREETWAY AND		
授業計画	総まとめ 問題対策・演習① 総まとめ 問題対策・演習③ 総まとめ 問題対策・演習③ 総まとめ 問題対策・演習⑤ 総まとめ 問題対策・演習⑥ 総まとめ 問題対策・演習⑨ 総まとめ 問題対策・演習⑩ 1 総まとめ 問題対策・演習⑪ 1 総まとめ 問題対策・演習⑪ 1 総まとめ 問題対策・演習⑪ 1 総まとめ 問題対策・演習⑰ 2 総合問題演習③ 2 総合問題演習③ 2 総合問題演習③ 2 総合問題演習⑤ 2 8 総合問題演習⑥ 2 8 総合問題演習⑥ 2 9 総合問題演習⑥ 2 8 によるにはないます。 2 9 によるにはないます。		
成績評価方法 (試験実施方法)	30 模擬試験 模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	6 0 時間		
	3077		
授業コマ数			
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習③ 5 総まとめ 問題対策・演習⑤ 6 総まとめ 問題対策・演習③ 7 総まとめ 問題対策・演習③ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 10 総まとめ 問題対策・演習③ 11 総まとめ 問題対策・演習③ 12 総まとめ 問題対策・演習③ 13 総まとめ 問題対策・演習③ 14 総まとめ 問題対策・演習③ 15 総まとめ 問題対策・演習③ 16 総まとめ 問題対策・演習③ 17 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 19 総まとめ 問題対策・演習③ 12 総まとめ 問題対策・演習③ 13 総まとめ 問題対策・演習③ 14 総まとめ 問題対策・演習③ 15 総まとめ 問題対策・演習③ 16 総まとめ 問題対策・演習③ 17 総まとめ 問題対策・演習③ 18 総まとめ 問題対策・演習③ 20 総まとめ 問題対策・演習③ 21 総まとめ 問題対策・演習③ 22 総まとめ 問題対策・演習② 23 総合問題演習② 24 総合問題演習③ 25 総合問題演習③ 27 総合問題演習③		
成績評価方法 (試験実施方法)	30 模擬試験 模擬試験 模擬試験 100% 模擬試験 200% 模擬試験 200% 模擬試験 200%		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	6 0 時間		
授業コマ数	3077		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記	1 総まとめ 問題対策・演習①		
授業計画	2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 6 総まとめ 問題対策・演習③ 6 総まとめ 問題対策・演習③ 8 総まとめ 問題対策策・演習③ 9 総まとめ 問題対策策・演習③ 11 総まとめ 問題対策・演演習④ 12 総まとめ 問題対策・演演習③ 14 総まとめ 問題対策・演演習⑤ 15 総まとめ 問題対策・演演習⑥ 16 総まとめ 問題対策・演演習⑥ 17 総まとめ 問題対策・演演習⑥ 18 総まとめ 問題対策・演演習⑩ 20 総まとめ 問題対策・演演習⑩ 21 総まとめ 問題対策・演演習⑩ 22 総まとめ 問題対策・演演習⑩ 23 総まとめ 問題対策・演演習⑫ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 総合問題演習③ 総合問題演習③ 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習③ 28 総合問題演習③ 29 総合問題演習③		
成績評価方法 (試験実施方法)	30 模擬試験 模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習⑤ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑨ 10 総まとめ 問題対策・演習⑩ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑫ 14 総まとめ 問題対策・演習⑫		
成績評価方法 (試験実施方法)	15 模擬試験 模擬試験 100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習④ 4 総まとめ 問題対策・演習④ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑧ 9 総まとめ 問題対策・演習⑩ 10 総まとめ 問題対策・演習⑪ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑪ 14 総まとめ 問題対策・演習⑪		
成績評価方法 (試験実施方法)	15 模擬試験 模擬試験 模擬試験 100% 模擬試験 200% 模擬試験 200% 模擬試験 200%		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	リスク管理概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習④ 4 総まとめ 問題対策・演習④ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 9 総まとめ 問題対策・演習⑨ 10 総まとめ 問題対策・演習⑩ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑪ 14 総まとめ 問題対策・演習⑭		
成績評価方法 (試験実施方法)	15 模擬試験 模擬試験 模擬試験 100% 模擬試験 200% 模擬試験 200%		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習⑤ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 9 総まとめ 問題対策・演習③ 10 総まとめ 問題対策・演習⑪ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑪ 14 総まとめ 問題対策・演習⑪ 15 模擬試験		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習⑤ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑨ 10 総まとめ 問題対策・演習⑩ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑪ 14 総まとめ 問題対策・演習⑪		
成績評価方法 (試験実施方法)	15 模擬試験 模擬試験 100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習④ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習⑨ 10 総まとめ 問題対策・演習⑩ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑫ 14 総まとめ 問題対策・演習⑫		
成績評価方法 (試験実施方法)	15 模擬試験 模擬試験 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル	内容		
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1577		
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総まとめ 問題対策・演習① 2 総まとめ 問題対策・演習② 3 総まとめ 問題対策・演習③ 4 総まとめ 問題対策・演習④ 5 総まとめ 問題対策・演習⑥ 6 総まとめ 問題対策・演習⑥ 7 総まとめ 問題対策・演習⑦ 8 総まとめ 問題対策・演習③ 9 総まとめ 問題対策・演習③ 10 総まとめ 問題対策・演習⑪ 11 総まとめ 問題対策・演習⑪ 12 総まとめ 問題対策・演習⑪ 13 総まとめ 問題対策・演習⑪ 14 総まとめ 問題対策・演習⑫ 15 模擬試験		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

タイトル		内容
授業科目	卒業研究	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	180時間	
授業コマ数	9077	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対す	「 る改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッ	ッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、	現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
	1 業界分析①	46 調査・検証②
	2 業界分析②	47 調査·検証③
	3 業界分析③	48 調査・検証④
	4 業界分析④	49 調査・検証⑤
	5 情報収集①	50 調査・検証⑥
	6 情報収集②	51 調査・検証⑦
	7情報収集③	52 調査・検証⑧
	8情報収集④	53 調査・検証⑨
	9情報収集⑤	54 調査・検証⑩
	10情報収集⑥	55 企画案作成①
	11 情報収集⑦	56 企画案作成②
	12 情報収集® 13 店舗分析①	57 企画案作成③ 58 企画案作成④
	14 店舗分析②	59 企画案作成⑤
	15 店舗分析③	60 企画案作成⑥
	16 店舗分析④	61 企画案作成⑦
	17 店舗分析⑤	62 企画案作成⑧
	18 店舗分析⑥	63 企画案作成⑨
	19 店舗分析⑦	64 企画案作成⑩
	20 店舗分析®	65 中間発表①
	21 店舗見学①	66 中間発表②
	22 店舗見学②	67 中間発表③
授業計画	23 店舗見学③	68 中間発表④
	24 店舗見学④	69 中間発表⑤
	25 店舗見学⑤ 26 店舗見学⑥	70 再校証① 71 再校証②
	27 店舗見学⑦	72 再検証③
	28 店舗見学®	73 再検証④
	29 課題抽出①	74 再検証⑤
	30 課題抽出②	75 再検証⑥
	31 課題抽出③	76 再検証⑦
	32 課題抽出④	77 再検証⑧
	33 課題抽出⑤	78 再検証⑨
	34 課題抽出⑥	79 再検証⑩
	35 課題抽出⑦	80 最終発表①
	36 課題抽出⑧	81 最終発表②
	37 仮説①	82 最終発表③
	38 仮説②	83 最終発表④
	39 仮説③	84 最終発表⑤
	40 仮説④ 41 仮説⑤	85 代表によるコンテストの実施① 86 代表によるコンテストの実施②
	41 仮説⑤	87 代表によるコンテストの実施②
	43 仮説⑦	88 代表によるコンテストの実施④
	44 仮説⑧	89 代表によるコンテストの実施⑤
	45 調査・検証①	90 代表によるコンテストの実施⑥
成績評価方法 試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢	

タイトル	内容
授業科目	言語知識(英会話) I
実務家教員授業	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	1577
授業概要	日常会話レベルの英会話力を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日常会話レベルの英会話力を身につける
教科書	外販教材・問題集
特記	
授業計画	Hello! (Introductions) ① Hello! (Introductions) ② Your World (Countries) ① Your World (Countries) ② All about you (Occupations) ① All about you (Occupations) ② Family and friends (Talking about people you know) ② Family and friends (Talking about people you know) ② Family and friends (Talking about people you know) ③ The way I live (Lifestyle and hobbies) ① The way I live (Lifestyle and hobbies) ② Every day (Routines) ① Severy day (Routines) ② My favourites (Things you like) ②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	*

タイトル	内容
授業科目	言語知識(中国語) I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ (1コマ90分)
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習の きっかけを作る。
教科書	実用中国語10課(白帝社)
特記	実践経験者による講義
14 110	, 中国語発音の基礎(1)
	1 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	中国多数水平排(0)
	1 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	3 中国語発音の基礎(3)
	っ 声調と変調・r 化現象・発音のおさらい
	, 簡単な日常挨拶(1)
	4 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順(是or動詞を述語とする場合)・丁寧語について
	本本の品限(足の動画を延留とりる物目)・ 宇宙について
	6 数字を覚えよう
	「年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	数字の活用
	7 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」 時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	「一切と時間の氏さの言いが、副詞「也」・疑问詞「怎么件」
授業計画	8 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	9 存在・所有の表現
	動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞
	買い物をする/値段を関くる値段が辿する
	10 買い物をする/値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了
	乗り換えと両替 11 「火悪・なければなこな」、「なます「悪」、ウマなます「フ・・動物をお取ります。
	11 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12 電話をする→「是~的」の構文・結果補語
	12 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过~」・まだ~していない「还没(有)~」
	13 確認する→もうすぐ~「要~了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「~、还是~」
	14 お客さんの出迎え&歓迎会
	連体修飾語としての動詞, 動詞構造, 主述構造・程度補語 「得」
	15 別れを告げる&総復習
	15 仮説を表す「~的话」,「要是~就~」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法	最終到達度確認テストで70%以上のスコアを取得する。
試験実施方法)	
備考	I

タイトル	内容
授業科目	言語知識(韓国語)I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ90分)
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	 読み書きができる。 以下の簡単な会話ができる ()挨拶&自己紹介 ()買い物でのやりとり ()③店での注文 ()道などを尋ねる
教科書	外販教材・問題集
特記	
授業計画	1 オリエンテーション;韓国語に関する豆知識 基本母音 2 基本子音①説明&子音「K」 復習と会話 3 小テスト 基本子音②ー「N」&「T」&「R」 基本子音③ー「M」&「P」&「S」 4 復習と会話 基本子音④ー「J」&「H」+まとめ 5 小テスト 激音①ー「Ch」&「Kh」 復習と会話 6 激音②ー「Th」&「Ph」+まとめ 濃音①ー「KK」&「TT」&「PP」 7 小テスト 復習と会話 濃音②ー「SS」&「JJ」+まとめ 8 パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話 9 小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG] 10 復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ 11 小テスト 合成母音① [P25&26の説明] 復習と会話 12 合成母音② [P27、28] <1課〉私は日本人です。
成績評価方法	15 最終到達度確認テスト
(試験実施方法)	最終到達度確認テストで70%以上のスコアを取得する。

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式(方程式、不等式、過不足算) 2 方程式(平均算・過不足算)、整数・計算パズル(約数と倍数) 3 整数・計算パズル(割り算の余り~覆面算) 4 整数・計算パズル(n進法)、割合と比(割合) 5 割合と比(比) 6 割合と比(決) 7 割合と比(決度) 8 速さ(速さ) 9 速さ(旅人算) 10 速さ(通過算、流水算、時計算) 11 仕事算(仕事算、給排水算、ニュートン算) 12 場合の数(場合の数、順列) 13 場合の数(順列、組合せ) 14 場合の数(道順)、確率(事象と確率、赤玉白玉、くじ引き) 15 確率(赤玉白玉、くじ引き、サイコロ・コイン)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ (1コマ120分)
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理(対偶、三段論法、確定条件、複合命題の分割、論理と集合) 2 集合の要素の個数(2つのベン図、3つのベン図、キャロル図) 3 順序の決定(パズル化、確定条件、男女の区別、順序と対応、折り返し) 4 順序の変動、順序の数値条件 5 順序の数値条件、対応(対応表、確定条件) 6 対応(やりとり)、対応の数値条件、スケジュール 7 位置と方位(位置、議長席) 8 位置と方位(円卓、道をへだてて、方位) 9 勝ち負け、カード・ゲーム、ウソの発言 10 推理・手順、暗号
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	12コマ (1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	打り紙、回転の軌跡 正多面体、展開図 平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木 積木、立体の切断、回転体 一筆書き、平面図形の計量(平方根の計算、三平方の定理) 平面図形の計量(三平方の定理、相似比、中点連結定理) 平面図形の計量(底辺分割定理、相似比と面積比) 平面図形の計量(底辺分割定理、相似比と面積比) 平面図形の計量(角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ) 平面図形の計量(内接円、円弧の長さ)、資料解釈(実数・割合) で面図形の計量(扇形の面積)、資料解釈(構成比) 立体図形の計量(立体の体積、回転体の体積)、資料解釈(指数) 立体図形の計量(断面積、表面積、体積比)、資料解釈(増加率)
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学 I 政治
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ (1コマ120分)
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2.4時間
授業コマ数	12コマ (1コマ120分)
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と 本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学 I 地理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ (1コマ120分)
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌(アジア、アフリカ) 10 世界地誌(ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代(武断政治、文治政治、三大改革) 7 江戸時代(幕末)、明治維新 2 憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史1(殷~漢) 12 中国史2(魏晋南北朝~隋、唐) 13 中国史3(宋、元) 14 中国史4(明、清) 15 中国史5(清の崩壊、中華民国)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践言語 I 文理・国語
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分) ※8コマ目のみ60分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語① 2 要旨把握、四字熟語② 3 内容合致、ことわざ① 4 内容合致、ことわざ② 5 文章整除、文法基礎① 6 文章整除、文法基礎② 7 文章の穴埋め、敬語① 8 文章の穴埋め、敬語②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	12コマ (1コマ120分)
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 方程式・不等式・整数・計算パズル 割合と比 速さ・仕事算 4 場合の数・確率 5 論理・集合と要素の個数 6 順序・対応 7 位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言 8 推理・手順・暗号・家系図 9 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成 10 サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き 11 平面図形の計量 12 立体図形の計量・資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	2 8 時間
授業コマ数	14コマ (1コマ120分)
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 方内閣の機構と運営 裁判所の機構と運営 地方自治、選挙制度 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合① 14 社会総合②
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	定期試験100% 100間の知識習得状況を測定する試験

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	12コマ (1コマ120分)
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	日本史(原始、古代) 日本史(中世、近世I) 日本史(近世II、近代I) 日本史(近代II、現代、通史) 地理(自然環境と地図) 地理(資源と産業、生活と地域) 地理(日本の地理) 地理(世界の地理) サプラー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ (1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	 基礎的なレベルの模擬試験① 模擬試験の解説 (知能系科目) 基礎的なレベルの模擬試験② 模擬試験の解説 (知識系科目) 基礎的なレベルの模擬試験③ 模擬試験の解説 (知識系科目) 基礎的なレベルの模擬試験③ 模擬試験の解説 (知識系科目) 基礎的なレベルの模擬試験④ 模擬試験の解説 (知識系科目) 基礎的なレベルの模擬試験④ 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 模擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 梅擬試験の解説 (知能系科目) 機模試験の解説 (知能系科目) 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験④ 模擬試験の解説 (知能系科目) 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験④ 模擬試験の解説 (知能系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	24 模擬試験の解説 (知識系科目) 模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

タイトル		内容
授業科目	直前答案練習I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	108時間	
授業コマ数	54コマ (1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実	記述的 わ知識 な学 ど
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点テ	2000000 202 30 10 200000 100 100 100 10
21 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年	上皮の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験	
特記		31 地方公務員タイプの模擬試験③
授業計画	2 模擬試験①の解説 3 国族公務員タイプの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 国族公務員タイプの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 国疾試験③の解説 9 国接疑公務員タイプの模擬試験⑤ 10 模擬公務員タイプの模擬試験⑥ 11 国叛公務員の解説 11 国叛武数6の解説 11 国叛武数6の解説 12 模擬公務6の解説 13 国擬公務6の解説 14 模擬家公験⑥の解説 15 国叛武数80の解説 15 国叛疑公務員タイプの模擬試験⑥ 16 模擬家公験⑥の解説 17 国模擬公務員の解説 17 国模擬公務員の解説 19 国模擬公務員の解説 19 国模擬公務員の解説 20 模擬試験⑥の解説 21 国域安公就験⑥の解説 21 関東公務員タイプの模擬試験⑥ 22 模擬公務験⑥の解説 23 国域安公就験⑥の解説 24 模擬公務員タイプの模擬試験⑥ 24 模擬公務員タイプの模擬試験⑥ 25 国叛公務員タイプの模擬試験⑥ 26 模擬公務員タイプの模擬試験⑥ 27 地方公務員タイプの模擬試験⑥	32 模擬試験③の解説 33 地方公務員タイプの模擬試験④ 34 模擬試験④の解説 35 地方公務員タイプの模擬試験⑤ 36 模擬試験⑤の解説 37 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 38 模擬試験⑥の解説 39 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 40 模擬試験⑥の解説 41 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 42 模擬試験⑧の解説 43 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 44 模擬試験⑨の解説 45 地方公務員タイプの模擬試験⑩ 46 模擬試験⑩の解説 47 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 48 模擬試験⑩の解説 47 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 48 模擬試験⑪の解説 49 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 50 模擬試験⑪の解説 51 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 52 模擬試験⑩の解説 53 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 54 模擬試験⑩の解説 554 模擬試験⑭の解説
成績評価方法 試験実施方法)	28 模擬試験①の解説 29 地方公務員タイプの模擬試験② 30 模擬試験②の解説 模擬試験100% 模擬試験における得別	点で評価

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	日 時事(政治分野1) 日 時事(政治分野2) 日 時事(政治分野3) 日 時事(経済分野1) 日 時事(経済分野2) 日 時事(文化1) 日 時事(文化2) 日 時事(文化3) 日 時事(科学1) 日 日 時事(科学2) 日 日 時事(科学2) 日 日 時事(科学3) 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	20コマ (1コマ120分)
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	a i
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向 3 基本テーマによる作文 4 添削および返却答案の修正 5 模範作文の研究 6 作文練習 2 8 作文練習 3 9 作文練習 4 10 作文練習 5 11 作文練習 6 12 作文練習 7 13 作文練習 8 14 作文練習 9 15 作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した作文の完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践数的IV 数的総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ (1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式 (方程式) 2 方程式 (不等式) (過不足算) 3 方程式 (平均算) (年齢算) 4 整数・計算パズル (約数と倍数) 5 整数・計算パズル (割り算の余り、整数の性質、カレンダー) 6 整数・計算パズル (数列、魔方陣) 7 整数・計算パズル (虫食算、覆面算、n進法) 8 割合と比 (割合) 9 割合と比 (比) 10 割合と比 (売買算) 11 割合と比 (濃度) 12 速さ (速さ) 13 速さ (旅人算、通過算) 14 速さ (流水算、時計算) 15 仕事算 (仕事算) 16 仕事算 (給排水算、ニュートン算) 17 場合の数 (場合の数、順列) 18 場合の数 (組合せ、道順) 19 確率 (事象と確率、赤玉白玉) 20 確率 (赤玉白玉、くじ引き、サイコロ、コイン)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シ	
タイトル	内容
授業科目	実践自然科学 I 生物・地学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 8 時間
授業コマ数	14コマ (1コマ120分)
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋 I 12 大気と海洋 I 13 太陽系と宇宙の構造 I 14 太陽系と宇宙の構造 I 14 太陽系と宇宙の構造 I 15 大類のののでは、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 8 時間	
授業コマ数	14コマ (1コマ120分)	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の 変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動力程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造 1 9 物質の構造 2 10 物質の状態 1 11 物質の変化 1 13 物質の変化 2 14 無機化合物	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

タイトル	内容
授業科目	実践演習IV 自然科学
実務家教員	
学部·学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 6 時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分)
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 生体の構造、生体内の代謝 2 生殖と発生、遺伝と変異 3 刺激の受容と反応 4 内部環境の恒常性と調整 5 生物の集団、生物の進化と系統 6 地球の姿と動く大地・岩石 7 大気と海洋、太陽系と宇宙の構造 8 地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100間の知識習得状況を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	9 0 時間
授業コマ数	45コマ (1コマ120分)
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	実践的な問題を含む50題の模擬試験で30点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	DAPAR NO.
授業計画	2 基礎的なレベル (一部応用レベルを含む) の模擬試験②
成績評価方法 試験実施方法)	30 国家公務員タイプの模擬試験⑪ 模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
での大大ルピノノイムノ	No. and the second second

タイトル		内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	102時間	
授業コマ数	51コマ (1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実	践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点デ	ータを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年	度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験	See a limit i marking y
特記	De presentation of the second	
竹品	1 本試験レベルの模擬試験①	
	2 模擬試験①の解説	31 本試験レベルの模擬試験値 32 模擬試験値の解説
	3 本試験レベルの模擬試験②	32 (模擬的駅間の所説 33 本試験レベルの模擬試験(f)
	4 模擬試験②の解説	34 模擬試験⑪の解説
	5 本試験レベルの模擬試験③	35 本試験レベルの模擬試験(8)
	6 模擬試験③の解説	36 模擬試験®の解説
	7 本試験レベルの模擬試験④	37 本試験レベルの模擬試験(9)
	8 模擬試験④の解説	38 模擬試験⑩の解説
	9 本試験レベルの模擬試験⑤	39 本試験レベルの模擬試験20
	10 模擬試験⑤の解説	40 模擬試験②の解説
	11 本試験レベルの模擬試験⑥	41 本試験レベルの模擬試験②
	12 模擬試験⑥の解説	42 模擬試験②の解説
	13 本試験レベルの模擬試験⑦	43 本試験レベルの模擬試験②
	14 模擬試験⑦の解説	44 模擬試験②の解説
授業計画	15 本試験レベルの模擬試験®	45 本試験レベルの模擬試験23
	16 模擬試験⑧の解説	46 模擬試験図の解説
	17 本試験レベルの模擬試験⑨	47 本試験レベルの模擬試験②
	18 模擬試験⑨の解説	48 模擬試験図の解説
	19 本試験レベルの模擬試験⑩	49 本試験レベルの模擬試験⑤
	20 模擬試験⑩の解説	50 模擬試験図の解説
	21 本試験レベルの模擬試験(II) 22 模擬試験(II)の解説 22 模擬試験(II)の解説 23 24 25 26 26 26 26 26 26 26	51 模擬試験(過去問題)
	23 本試験レベルの模擬試験(2)	
	24 模擬試験⑫の解説	
	25 本試験レベルの模擬試験(3)	
	26 模擬試験③の解説	
	27 本試験レベルの模擬試験(4)	
	28 模擬試験⑭の解説	
	29 本試験レベルの模擬試験(5)	
	30 模擬試験⑮の解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点	で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程によ	10 = 1

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	 1 地方公務員試験タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 基礎的なレベル (一部応用レベルを含む) の模擬試験① 4 模擬試験①の解説 5 地方公務員タイプの模擬試験② 6 模擬試験②の解説 7 基礎的なレベル (一部応用レベルを含む) の模擬試験② 8 模擬試験②の解説 9 地方公務員タイプの模擬試験③ 10 模擬試験③の解説 11 基礎的なレベル (一部応用レベルを含む) の模擬試験③ 12 模擬試験③の解説 13 地方公務員タイプの模擬試験④ 14 模擬試験④の解説 15 基礎的なレベル (一部応用レベルを含む) の模擬試験④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ (1コマ120分)
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 法の下の平等 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 表現の自由、学問の自由 財産権 10 財産権 11 人身の自由、社会権 社会権、参政権、受益権 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習 1 総合演習 2 総合演習 3 総合演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 8 時間
授業コマ数	34コマ (1コマ120分)
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	権利能力、意思能力と行為能力 2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業內試験100%
備考	

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 8 時間
授業コマ数	19コマ (1コマ120分)
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	 行政法の一般的な法理論 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 行政行為の効力・瑕疵 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 行政行為の附款、行政強制 行政期、行政調査 行政契約、行政計画、行政指導 行政立法、行政手続法 行政・表述、手続の瑕疵 行政機関情報公開法 行政水(協議) 行政水(協議) 行政水(協議) 行政本(限審查法) 行政事件訴訟法(取消訴訟) 行政事件訴訟法(をの他抗告訴訟) 国家賠償法 国家賠償法、担失補償、国家補償の谷間の問題 行政組織法、地方自治法 地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員時事研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 情報収集と考察 テーマ 1 2 情報収集と考察 テーマ 2 3 情報収集と考察 テーマ 3 4 情報収集と考察 テーマ 5 6 情報収集と考察 テーマ 6 7 情報収集と考察 テーマ 7 8 情報収集と考察 テーマ 8 9 情報収集と考察 テーマ 9 10 情報収集と考察 テーマ 1 0 11 情報収集と考察 テーマ 1 1 12 情報収集と考察 テーマ 1 2 13 情報収集と考察 テーマ 1 3 14 情報収集と考察 テーマ 1 4 15 情報収集と考察 テーマ 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート100% 提出物の成果を評価
備考	

授業科目	タイトル	内容
学部・学科 スポーツ産業学科 履修年次 2 年次 (後期)	授業科目	公務員適性検査演習I
関係年次 2 年次	実務家教員	
開議学期 後期 長瀬 長瀬 長瀬 長瀬 長瀬 長瀬 長瀬 長	学部・学科	スポーツ産業学科
接来方法 議習	履修年次	2年次
授業中間 6 0 時間	開講学期	後期
授業時間 60時間 授業コマ教 30コマ (1コマ120分) 授業機要 30日マ (1コマ120分) 授業機要 5 基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う 達成目標 様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける 教科書 オリジナルテキスト 特記 1 適性試験パターン1の解答方法 適性試験パターン2の解習 3 適性試験パターン2の解習 5 適性試験パターン3の解答方法 値性試験パターン3の解答 6 適性試験パターン3の解答 7 適性試験練習 9 適性試験練習 1 1 8 適性試験練習 2 9 適性試験練習 3 適性試験練習 8 11 1 適性試験練習 8 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科目区分	選択
授業根要 公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する 接続試験 (適性試験) 1 適性試験が 2 2 適性試験が 3 3 2 適性試験が 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	授業方法	演習
授業の進め方 基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う 達成目標 様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける 教科書 オリジナルテキスト 等記 適性試験パターン1の解答方法 適性試験パターン2の解答方法 適性試験パターン2の解答方法 適性試験パターン3の解答方法 適性試験パターン3の解答方法 適性試験パターン3の解答方法 適性試験がおり、2の解答方法 適性試験がおり、2の解答方法 適性試験がおり、2の解答方法 適性試験がおり、2の解認 1	授業時間	6 0 時間
接案の進め方 基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う 接々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける 教科書 オリジナルテキスト 特記	授業コマ数	30コマ (1コマ120分)
接案の進め方 基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う 接々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける 教科書 オリジナルテキスト 特記	授業概要	→ 公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
達成目標 様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける オリジナルテキスト 特記	授業の進め方	The state of the s
特記 特記	達成目標	
特記 1 適性試験バターン1の解答方法 2 適性試験バターン2の練習 3 適性試験バターン2の練習 5 適性試験バターン2の練習 5 適性試験バターン3の解答方法 6 適性試験がターン3の解答方法 6 適性試験練習 2 9 適性試験練習 2 9 適性試験練習 3 10 適性試験練習 4 11 適性試験練習 5 12 適性試験練習 6 13 適性試験練習 7 14 適性試験練習 8 15 適性試験練習 8 16 適性試験練習 8 16 適性試験練習 8 17 適性試験練習 1 18 適性試験練習 1 18 適性試験練習 1 18 適性試験練習 1 18 適性試験練習 1 19 適性試験練習 1 20 適性試験練習 1 21 複擬試験(適性試験) 1 22 模擬試験(適性試験) 2 24 模擬試験(適性試験) 3 24 模擬試験(適性試験) 3 24 模擬試験(適性試験) 3 24 模擬試験(適性試験) 3 24 模擬試験(適性試験) 5 26 模擬試験(適性試験) 6 27 模擬試験(適性試験) 6 27 模擬試験(適性試験) 7 28 模擬試験(適性試験) 7 28 模擬試験(適性試験) 7 28 模擬試験(適性試験) 7 28 模擬試験(適性試験) 8 29 模擬試験(適性試験) 7 20 核擬試験(適性試験) 8 20 模擬試験(適性試験) 8 21 核凝試験(適性試験) 8 22 核凝試験(適性試験) 8 23 核凝試験(適性試験) 8 24 核凝試験(適性試験) 8 25 核凝試験(適性試験) 8 26 核凝試験(適性試験) 8 27 核凝試験(適性試験) 8 28 核凝試験(適性試験) 9 30 核凝試験(適性試験) 1 0	0.00 0.00	
1 適性試験パターン1の解答方法 適性試験パターン2の解答方法 適性試験パターン2の解答方法 適性試験パターン2の解答 方法 適性試験パターン3の解答 方法 適性試験がターン3の解答 方法 適性試験練習 2 適性試験練習 2 適性試験練習 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	The second secon	
成績評価方法 (試験実施方法) 模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	授業計画	3 適性試験パターン2の解習 適性試験パターン3の解答方法 適性試験パターン3の解答方法 適性試験練習 1 適性試験練習 2 適性試験練習 5 適性試験練習 6 適性試験練習 7 1 適性試験練習 8 1 適性試験練習 8 1 適性試験練習 9 1 1 適性試験練習 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(·
	CREATE VALUE	

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習・実習
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	海上保安庁による講義を基にした演習・実習
授業計画	1 実務経験者における講義 2 レポート作成 1 3 レポート作成 2 4 実習準備 5 官公庁での実習 6 レポート作成 1 7 レポート作成 2 8 レポート作成 3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	官公庁(国家行政職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	海上保安庁職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義② (プレゼンテーション・総評) 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

タイトル	内容
授業科目	職業実務IV
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	消防署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	神戸市職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義②(プレゼンテーション・総評) 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

タイトル	内容
授業科目	職業実務V
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	官公庁(国家公安職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	消防職関係者による講義を基にした演習・実習
授業計画 授業計画 成績評価方法 (試験実施方法)	1 実務経験者における講義 2 レポート作成1 3 レポート作成2 4 レポート作成3 5 実務経験者による実習 6 レポート作成1 7 レポート作成2 8 レポート作成3 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。
教科書	なし
特記	
授業計画	1 精通者における講義 2 筋カトレーニング・ストレッチ運動 3 集団演技① 4 集団演技② 5 集団演技③ 6 集団演技⑤ 8 集団演技⑥ 9 集団演技⑥ 10 集団演技の 11 集団演技の 11 集団演技の 12 集団演技の 13 集団演技の 14 集団演技の 15 球技
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、出席状況
備考	

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑥ 10 ボランティア実体験⑩ 11 ボランティア実体験⑪ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑪ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情に関するより深い知識や心構えを学ぶ
教科書	
特記	
授業計画	1 自助・共助・公助 2 ボランティア先進国の実情 3 ボランティアを有効活用するために必要なこと 4 ボランティア体験談① 5 ボランティア体験談③ 7 ボランティア体験談⑤ 8 ボランティア体験談⑤ 9 ボランティア実体験① 10 ボランティア実体験② 11 ボランティア実体験④ 13 ボランティアと体験⑤ 14 ボランティアレポート① 15 ボランティアレポート②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 0 時間
授業コマ数	10コマ (1コマ120分)
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	1 職種別ガイダンス 1 2 職種別ガイダンス 3 4 職種別ガイダンス 4 5 職種別ガイダンス 5 6 職種別ガイダンス 7 8 職種別ガイダンス 8 9 職種別ガイダンス 9 10 職種別ガイダンス 10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8コマ (1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	官公庁より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 公務員制度 2 公務員服務規程 3 業務上のマナー 4 公務員関連の法令研究 1 5 公務員関連の法令研究 2 6 公務員服務規程の研究 1 7 公務員服務規程の研究 2 8 レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	民法に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による講義を基にした実習
授業計画	1 法律概論(講義) 2 民法の考え方(講義) 3 課題①の研究 1 4 課題②の研究 2 5 課題②の研究 2 7 課題③の研究 2 7 課題③の研究 2 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション① 15 研究発表プレゼンテーション②
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ (1コマ120分)
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	
特記	防衛省職員による講義を基にした実習
授業計画	1 災害対策の枠組み(講義) 2 災害対策の実例(講義) 3 課題研究 1 課題研究 2 5 課題研究 3 6 課題研究 5 8 課題研究 6 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション① 研究発表プレゼンテーション②
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
	2 DOM: Visions the Worlds
授業コマ数	3077
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト・模擬試験
特記	
授業計画	2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 1 0 11 適性試験練習 1 1 12 適性試験練習 1 2 13 適性試験練習 1 3 14 適性試験練習 1 4 15 適性試験(適性試験) 1 17 模擬試験(適性試験) 2 18 模擬試験(適性試験) 3 19 模擬試験(適性試験) 5 21 模擬試験(適性試験) 5 21 模擬試験(適性試験) 6 22 模擬試験(適性試験) 7 23 模擬試験(適性試験) 8 24 模擬試験(適性試験) 9 25 模擬試験(適性試験) 9 25 模擬試験(適性試験) 1 0 26 模擬試験(適性試験) 1 0 26 模擬試験(適性試験) 1 2 28 模擬試験(適性試験) 1 2 28 模擬試験(適性試験) 1 3 29 模擬試験(適性試験) 1 3
成績評価方法 (試験実施方法)	30 模擬試験 (適性試験) 1 5 模擬試験における得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員就職試験対策演習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	1577
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 適性検査練習 2 適性検査練習 3 4 適性検査練習 4 適性検査練習 5 6 適性検査練習 6 7 適性検査練習 7 8 適性検査練習 8 9 適性検査練習 9 10 適性検査練習 1 1 12 適性検査練習 1 2 13 適性検査練習 1 2 13 適性検査練習 1 3 14 適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	9 0 時間
授業コマ数	4577
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト
 特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 面接の基本 3 自己PR作成 4 志望動機作成 5 面接効果測定 6 受験職種研究 1 7 受験職種研究 2 8 模擬面接(基礎) I 9 受験職種研究 3 10 受験職種研究 4 11~14 模擬面接(基礎) Ⅱ 15-22 模擬面接(実践) Ⅱ 31~37 模擬面接(実践) Ⅲ 38~45 模擬面接(実践) Ⅳ
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 0 時間
授業コマ数	107
授業概要	物理・化学の基礎知識を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式、エネルギー 4 運動量、電気 5 波動 6 物質の構造 1 7 物質の構造 2、物質の状態 8 物質の変化 1 9 物質の変化 2 10 無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に 評価
備考	

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎・応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	607
授業概要	8試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
	なし
—————————————————————————————————————	
授業計画	4-6 模擬面接(試験種Ⅱ) 10-12 模擬面接準備(試験種Ⅲ) 13-15 模擬面接準備(試験種Ⅲ) 16-18 模擬面接準備(試験種Ⅲ) 19-21 模擬面接準備(試験種Ⅳ) 22-24 模擬面接(試験種Ⅳ) 25-27 集団討論準備 集団討論 31-38 職種別試験ガイダンス 39-40 官庁研究 41-42 模擬面接準備(試験種Ⅴ) 41-42 模擬面接準備(試験種Ⅴ) 46-47 模擬面接準備(試験種Ⅵ) 46-47 模擬面接準備(試験種Ⅵ) 46-50 模擬面接準備(試験種Ⅵ) 51-52 模擬面接準備(試験種Ⅶ) 51-52 模擬面接準備(試験種Ⅶ) 51-55 模擬面接準備(試験種Ⅷ)
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	58-60 模擬面接 (試験種VII) 授業への参加姿勢で評価 授業実施順序は入替をすることがある